

行田市章

まち並み景観形成先導モデル事業

八幡通り通信



Vol. 1



今回は、事業概要および10月28日(月)に開催された「第1回地元説明会」の様子をお伝えします！

市では、**行田ならではの環境や特徴等を活かした統一感のあるまち並み景観整備**を今まで以上に加速させ、にぎわいの創出につなげることを目的に、「**まち並み景観形成先導モデル事業**」を実施いたします！

この事業は、**八幡通り**（行田郵便局から八幡神社までの約220m）において、**今年度から3年間にわたり**、埼玉県の補助金を活用して通り沿線の**建築物の外観修景整備**を支援するものです。事業の実施により、既存の歴史・文化的資源と調和した「**行田らしい魅力あふれるまち並み**」の創出を目指しています。

まち並み景観形成先導モデル事業とは？

- ★地域の活性化やにぎわい創出を図るための**まち並み景観づくり**を加速させるため、積極的に取り組んでいる**市町村の中から先導的に取り組む区間<モデル区間>**を選定し、**県が取り組みを支援する新規事業**です。
- ★誰もが「訪れたい」「誇りに思える」まち並み整備により地域の核となる**景観拠点**をつくることで、**地元への愛着心が向上し、まち並みとともに全体へと波及**されることが期待されます。

昭和28年当時



昭和25年当時

昭和31年当時



まち並み整備って言っても、具体的に何が出来るんだろう？



「まち並み景観形成先導モデル事業」では…

建築物の外壁、看板、格子、屋根、庇(ひさし)等の改修に対し、補助金の交付が可能です。

※補助の対象となる建築物には、店舗だけでなく**一般住宅も含まれます**。

※補助対象となるのは、**外観修景整備に掛かる費用**（建築設計費、住宅等修景費、建築設備等修景費、外構修景費、色彩修景費）です。

※原則、修景整備は**申請していただいた年度内**に完了させるものとします。

景観はこんなことにも役立つ！

魅力を向上させることで、**資産価値を守る！**

住む人自らが「ふるさと行田」を感じることで、**地元への愛着心が育まれる！**



行田八幡神社

Q. そもそも、なんで八幡通りなの？



- A. ①**まち並みを活かした歴史的街路整備事業が既に実施されており、景観整備との相乗効果が期待されるから！**
- ②**商店や商店に成り得る空き家があり、通りのにぎわいを創出できる可能性が感じられるから！**
- ③**神社・日本遺産の構成資産・テレビドラマ「陸王」のロケ地など、歴史的建築物や観光資源が点在する魅力ある通りだから！**

通り写真①

通り写真②

裏面もごさいます。

地元住民や建物所有者の方と「どんなまち並みにしたいか」「どうしたらにぎわいが生まれるか」について意見交換を行うため、**地元説明会**を開催いたしました！

～ 第1回説明会の概要 ～

日 程：令和元年10月28日(月) 19:00～21:00
場 所：行田市商工センター 403会議室 参加者：15名
主 催：行田市都市計画課 ※事業関係者として埼玉県田園都市づくり課、利根地域振興センター、行田市商工観光課の3者も同席。



説明会プログラム

1. 開会
2. これまでの市の取組み
3. これから市が進めたいと考えていること
4. 市から市民の皆さまへのお願いなど
5. 皆さまからのご意見、ご要望など(意見交換)
6. 閉会



第1回目の説明会へ**石井直彦市長**も駆けつけ、八幡通りへの熱い想いを語り、参加の皆さまも真剣な表情を浮かべておりました。

意見交換で出た意見・要望

- ・交通規制(一方通行化)や駐車場整備が必要。
- ・にぎわい創出の中心は神社参拝者になると思う。
- ・公共トイレの整備が必要。
- ・人を歩かせる街にするべき。
- ・常に新しくしていく事は大事だと思う。
- ・賃貸可能な空き店舗に若者を全国から呼び込む。
- ・カフェなど気軽に寄れて休憩できる店が欲しい。



など

質疑応答

Q1. 修景整備の足並みが揃わなかった場合、歯抜け状態の景観になると思われるが良いのか？

A1. 10～20年後を見据えた上で、将来的に通りの一体的な整備が完成できるように市としても尽力する。皆さまの継続的なご協力が必要となるため、今後ともよろしくお願ひしたい。

Q2. 景観整備よりも先に、にぎわいを創出させる方が重要ではないのか？

A2. 「景観だけ整備すれば良い」とは考えていないが、景観づくりが人を呼び込むためのきっかけになると考えている。今後は、他自治体の成功事例等を提示させていただき、皆さまと理解を深めていきたい。

Q3. 「行田らしいまち並み」とは、どういうまち並みなのか？

A3. 「行田らしいまち並み」の概念はあるが、今後は「八幡通りにしか出来ないまち並み」「八幡通りにしか生み出せないにぎわい」について、皆さまと一緒に考えていきたい。

～ 今後のスケジュール ～

令和元年度

- ・まち並み景観形成先導モデル地区(八幡通り)基本構想の作成
- ・沿線地権者全体説明会(勉強会)、個別意見交換 ※強みや問題点の共有、目指すべきまち並みの方針やルール、建物改修費補助率の報告等
- ・関係機関協議(持続可能なにぎわい創出策の検討など)



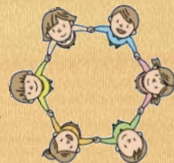
令和2年度～令和3年度

- ・建物前面改修工事
- ・沿線地権者全体説明会(勉強会)、個別意見交換 ※進捗状況報告、市民主体のまちづくり活動を支援等
- ・関係機関協議(持続可能な賑わい創出策の検討など)

おわりに…

「八幡通り通信」編集長の**カモダ**です。この度、地域の皆さまと共に事業を円滑に進めるため、「八幡通り通信」を刊行する運びとなりました♪

11月30日に八幡神社でアンケート調査を実施した際は、晴天に恵まれたなか結婚式が行われており、清々しい冬空の下、大勢の方に祝福される新郎・新婦の姿に、思わずほっこりしてしまいました(笑) 市では「地域にお住いの**皆さまの・皆さまによる・皆さまのためのまちづくり**」を支援してまいります！ 八幡通りを**次世代に引き継げるまち並み**にするため、一緒に考えていきましょう！



次号をおたのしみに♪